

参加無料

中央区にゆかりの深い古典芸能の魅力を  
芸談や実演、ワークショップを通してご紹介します。  
「古典芸能を未来へと守り、つなぐ」では、各界のゲストを迎え、  
古典芸能の継承の展望を語り合うとともに、  
道を究めた演者による一流の舞台を鑑賞していただきます。

区の歴史と文化を活かした生涯学習事業

古典芸能を

# 未来へと守りつなぐ



桂春蝶

10/23 [水]  
14:00~15:00

桂春蝶と  
笑って学ぶ  
楽しい落語

場所:大阪市立中央会館  
(大阪市中央区島之内2丁目12-31)  
対象:どなたでも(150人定員)  
要申込(裏面をご覧ください。)

古典落語にまつわる楽しいお話と落語の実演



大槻 文蔵



森西 真弓



澤 千左子



茂山 宗彦



茂山 逸平

能楽堂で出会う 古典芸能の現在と未来

2014年  
2/2 [日]  
14:00~16:00

フォーラム  
古典芸能を  
未来へと  
守り、つなぐ

場所:大槻能楽堂(大阪市中央区上町A番7号)  
対象:どなたでも(500人定員)  
要申込(裏面をご覧ください。)

内容:オープニング

地歌・上方唄・対談 澤 千左子  
森西 真弓

第1部  
対談 大槻 文蔵(シテ方観世流)  
森西 真弓

第2部  
狂言「清水」 茂山 宗彦(狂言方大蔵流)  
茂山 逸平(狂言方大蔵流)  
赤松 禎英(シテ方観世流)

半能「敦盛」 福王 知登(ワキ方福王流)  
斉藤 敦(笛方森田流)  
清水 皓祐(小鼓方大倉流)  
森山 泰幸(大鼓方観世流)

他

主催:中央区役所  
問合せ:中央区役所市民協働課  
(市民活動支援)  
☎ 6267-9837

この事業は、  
サテライト大阪環境整備協力費で実施しています。



11/5 [火]  
12:15~13:00

能の音色と  
ワークショップ

場所:大阪市中央区役所1階ロビー  
(大阪市中央区久太郎町1丁目2-27)  
対象:どなたでも(80人定員) 申込不要

出演者:斉藤 敦(笛方森田流)  
清水 皓祐(小鼓方大倉流)  
森山 泰幸(大鼓方観世流)  
中田 弘美(太鼓方金春流)

能囃子コンサートと楽器の演奏体験





2013.10/23[水]

桂 春蝶

落語家。父である二代目桂春蝶の死をきっかけに落語家になることを決意し、1994年に三代目桂春團治に入門し春菜を名乗る。2009年8月30日大阪松竹座をはじめ全国20カ所で「三代目桂春蝶」襲名公演を開催。2007年 なにわ芸術祭奨励賞受賞、2009年 なにわ芸術祭審査員特別賞受賞。



2013.11/5[火]

2014. 2/2[日]

齊藤 敦

笛方森田流。1973年生まれ。野口傳之助に師事。2009年「道成寺」を抜き独立。



2013.11/5[火]

2014. 2/2[日]

清水 皓祐

小鼓方大倉流。1961年生まれ。十五世宗家故大倉長十郎及び十六世宗家大倉源次郎に師事。1986年に独立し、「石橋」「翁」「道成寺」「卒都婆小町」などを抜く。



2013.11/5[火]

2014. 2/2[日]

森山 泰幸

大鼓方観世流。1979年生まれ。大鼓観世流宗家代理守家由訓に師事。2004年舞囃子「吉野天人」にて初舞台を踏み、「石橋」「道成寺」「乱」などを抜く。



2013.11/5[火]

中田 弘美

太鼓方金春流。1960年生まれ。故三島太郎及び三島元太郎に師事。



2014. 2/2[日]

大槻 文蔵

シテ方観世流。1942年生まれ。故観世寿夫、故鏡之丞、父秀夫、祖父十三に師事。1978年大阪文化祭奨励賞、1997年読売演劇大賞、1998年文化庁芸術祭優秀賞、観世寿夫記念法政大学能楽賞、1999年芸術選奨文部科学大臣賞、2002年紫綬褒章ほか多数受賞。



2014. 2/2[日]

赤松 禎英

シテ方観世流。1958年生まれ。大槻秀夫及び大槻文蔵に師事し、1985年に独立する。1993年大阪文化祭奨励賞、2000年大阪舞台芸術奨励賞などを受賞。



2014. 2/2[日]

福王 知登

ワキ方福王流。1981年生まれ。福王流十八世宗家・福王茂十郎の次男。父に師事。公益社団法人能楽協会 大阪支部常議員。



2014. 2/2[日]

澤 千左子

地歌・上方唄・箏曲演奏家。大阪市出身。中谷勝子、宮城喜代子、宮城数江および東京芸術大学在学中、初代富山清琴に師事。2011年上方唄松浪流を創流、初代家元松浪千壽を名乗る。大阪天満天神繁盛亭に定期的に出演するなど、上方唄の保存・普及に努める。



2014. 2/2[日]

森西 真弓

大阪樟蔭女子大学学芸学部国文学科教授。雑誌『上方芸能』編集代表。日本芸能史・上方伝統芸能・近代日本演劇を専門に、幅広い文化活動に勤める。主な著書に『上方芸能手帖』『上方芸能への招待』などがある。1993年咲くやこの花賞、1995年歌舞伎学会奨励賞受賞。



2014. 2/2[日]

茂山 宗彦

狂言方大蔵流。1975年生まれ。父二世茂山七五三および祖父四世茂山千作、曾祖父故三世茂山千作に師事。4歳で初舞台。2006年より「HANAGATA」を一門の若手とともに主宰。2007年NHK朝の連続テレビ小説『ちりとてちん』をはじめ、テレビ、ミュージカルなど他ジャンルにも出演。



2014. 2/2[日]

茂山 逸平

狂言方大蔵流。1979年生まれ。父二世茂山七五三および祖父四世茂山千作、曾祖父故三世茂山千作に師事。4歳で初舞台。2006年より「HANAGATA」を一門の若手とともに主宰。映画、ドラマなどに積極的に出演。

2014. 2/2[日]

【演目あらすじ】

狂言 『清水』

主人は明日催す茶会のために、太郎冠者を遠くの野中の清水まで水を汲みに行かせます。太郎冠者は茶会の度に水汲みにやらされてはたまらないと、途中で秘蔵の手桶を投げ出し、鬼に襲われたふりをして帰ります。主人は手桶借しに自分で清水へ出かけますが、そこで太郎冠者は先回りして鬼の面をかぶり、主人を脅します。主従の対立を軽妙に明るく描いた作品です。狂言では珍しく「武悪」という名の鬼の面が、鬼に化けて人を脅かすための道具として用いられます。

能 『敦盛』

一の谷の合戦で、まだ16歳だった平敦盛を手にかけてしまった熊谷直実、世の無常を感じ出家して蓮生と名乗り、敦盛を弔うため再び一の谷を訪れます。すると、どこからともなく笛の音が聞こえ、敦盛ゆかりの者という男が現れ、十念を授けてほしいと言いつつ消え去ります。夜もすがら回向をしていると、敦盛の霊が現れ、合戦前夜や平家没落の様子を語っているうちに自分の最期を思い出し、突然斬りかかってきます。しかし自分を弔ってくれる蓮生に感謝し、後の供養を頼んで消え失せます。平家物語では、熊谷は敦盛の容貌があまりに美しく、刀をどこに立てて良いものかと躊躇した、とありますが、能ではそのことには触れず、むしろ敵同士だった二人が仏縁によって真の友となるという、熊谷の心情に焦点を当てています。

## 申込方法

※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。

	2013.10/23[水] 桂春蝶と笑って学ぶ楽しい落語	2014. 2/2[日] フォーラム 古典芸能を未来へと守り、つなぐ								
締め切り	10月11日(金)必着 ※申込多数の場合は抽選	1月20日(月)必着 ※申込多数の場合は抽選								
方法	往復はがきに、 ①希望日(落語あるいはフォーラム)②応募者全員のお名前(ふりがな)③住所④電話番号を記入のうえ、下記までお申し込みください。 〒541-8518 大阪市中央区久太郎町1-2-27 中央区役所 市民協働課 「落語」または「フォーラム」係	<table border="1"> <tr> <td>往信用(おもて)</td> <td>返信用(うら)</td> <td>返信用(おもて)</td> <td>往信用(うら)</td> </tr> <tr> <td>  541-8518 大阪市中央区久太郎町1-2-27 中央区役所 市民協働課 「落語」または「フォーラム」を ご記入下さい。 係 </td> <td>白紙</td> <td>  郵便番号 申し込み方の 住所・氏名 </td> <td> ①希望日 (落語またはフォーラム) ②応募者全員のお名前(ふりがな) ③住所 ④電話番号 </td> </tr> </table>	往信用(おもて)	返信用(うら)	返信用(おもて)	往信用(うら)	541-8518 大阪市中央区久太郎町1-2-27 中央区役所 市民協働課 「落語」または「フォーラム」を ご記入下さい。 係	白紙	郵便番号 申し込み方の 住所・氏名	①希望日 (落語またはフォーラム) ②応募者全員のお名前(ふりがな) ③住所 ④電話番号
往信用(おもて)	返信用(うら)	返信用(おもて)	往信用(うら)							
541-8518 大阪市中央区久太郎町1-2-27 中央区役所 市民協働課 「落語」または「フォーラム」を ご記入下さい。 係	白紙	郵便番号 申し込み方の 住所・氏名	①希望日 (落語またはフォーラム) ②応募者全員のお名前(ふりがな) ③住所 ④電話番号							